

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 武義高等学校 学校運営協議会（第2回）

2 開催日時 令和6年11月14日（木）書面開催

3 参加者

会 長	有川 一	中部学院大学 教授
副 会 長	土本 恭正	本校同窓会会頭
委 員	辻 晃一	丸重製紙企業組合 理事長
	成瀬 孝子	美濃市社会福祉協議会 常務理事事務局長
	小林 亜弓	本校PTA会長
	佐藤 隆司	本校PTA監事
学 校 側	加藤 信男	校長
	笠井 智子	教頭
	大野 英悟	事務長
	井戸 裕二	教務部長
	吉川 敏幸	進路指導部長、地域連携委員会総括
	各務 憲之	生徒指導部長
	堀内 雅彦	特活指導部長
	原 美潮	商業部長

4 資料の概要（協議事項）

(1) 学校長挨拶

(2) 議題

- ①令和6年度学校評価アンケートについて（生徒・保護者対象）
- ②スクールミッション（案）と策定について
- ③教務部（令和7年度教育課程の編成・タブレット修繕）
- ④進路指導部（令和6年度前期進路状況）
- ⑤生徒指導部（令和6年度前期生徒指導状況）
- ⑥ 特活指導部（令和6年度前期部活動報告・武義高ニュース）
- ⑦ 商業部（令和6年度課題研究前期実施内容・学びとビジネス架け橋プロジェクト）
- ⑧ 地域連携委員会（令和6年度前期活動報告）

(3)意見交換

令和6年度学校評価アンケートについて(生徒・保護者対象)

意見1:「保護者等を対象とするアンケート」について注目ポイントとして、1~3 まで番号が振ってありますが、これらについて学校は何について「注目ポイント」としたのか。

回答 :アンケートから保護者の皆さんが評価アンケートに対して丁寧に答えてくださっていることや、「学校の教育活動についてもっと情報発信をして欲しい」という希望が強く出ていることである。

意見2:「わからない」の回答は学校の取り組みを覚えていない、若しくは恐らく説明不足かと思われるので、学校の取り組みを伝え一定の期間を設え、アンケートの回数を増やすと良い。

意見3:保護者対象のアンケートについては、全体的に「あてはまる~ややあてはまる」と回答されている割合が高いという点から、生徒の生活状況を通じて学校のことがよく伝わっていると言える。一方で生徒(保護者の子ども)を通じてわかる部分は保護者に伝わっているが、生徒があまり関わっていない部分については伝わっていないのでは。学校全体の動きについて保護者にもっと関心を持っていただく必要がある。

生徒対象のアンケートについては、非常に良い評価が現れている。

回答 :学校の動きについて保護者への情報発信を増やし、発信の仕方にもバリエーションを持たせたい。生徒の探究活動や課題研究と絡ませていくのもいいと考えている。

スクールミッション(案)と策定について

意見1:学校教育目標およびスクールミッションについて、概ね問題ない。

ただ、「リーダーの育成」だけという点に少々違和感を覚える。組織やチームに「リーダー」の存在は必要不可欠だが、組織やチームの成果を最大化させるために、自律的かつ主体的にリーダーや他のメンバーを支援する「フォロワーシップ」ができる「フォロワー」も必要である。具体的には、リーダーに対して建設的な批判を行ったり、目標達成に向けて主体的に行動したり、リーダーのビジョンを具体的な行動計画に落とし込むという力を持つ人材。このような「優れたフォロワーの育成」という観点が含まれてもいい。

意見2:GP,CP,AP 等わかる方が少ないので標記の検討が必要である。(日本語のみの方がわかりやすいのでは)

教務部(令和7年度教育課程の編成・タブレット修繕)

意見1:教育課程の編成に向けて、是非この方向性でどんどん進めていただきたい。

進路指導部(令和6年度前期進路状況)

意見1:丁寧に対応していただいている様子がうかがえる。

生徒指導部(令和6年度前期生徒指導状況)

意見1:交通事故を減らすための取組ができていて、その効果が出ていると感じている。武義高校からの帰路はどちらへ向かって下り坂ばかりである。特に自転車の下校は危険を伴う。年度当初、少し生徒さんたちの様子に不安を覚えることがあったが、今年度の半ばも過ぎ、マナーも良くなってきている。

意見2: 坂から降りて行く下校の様子を見ていると、事故が起きないか心配である。ヘルメットの着用率も低い。自分の身を守るため、相手の命を守るためにもスマホを持っての自転車運転はやめさせてほしい。若さゆえの行動だと思うが、地域の住民としても気になる。

意見3: 生徒自家用車乗降について、現在は小倉公園駐車場内のみでの乗降が認められているかと思いますが、たどり着くまでに2ヶ所坂道があるため、冬季の凍結時の運転が心配です。美濃市健康文化交流センターの駐車場を新たに生徒乗降可能場所としてお借りすることはできないか。

回答 : 美濃市健康文化交流センターの駐車場の隣の観光ふれあい広場駐車場が 30 分以内の駐車なら無料で利用可能である。

特活指導部(令和6年度前期部活動報告・武義高ニュース)

意見1: 武義高祭のアンケートについて

開催中のスマホの使用について、次年度以降許可することに賛成。次年度以降入学する中学生達にとって、高校生達が発信する内部の様子は大変興味深く、志望校選びの重要な要素となっている。SNS で高校の諸行事を検索し、どのような雰囲気かを知ろうとする中学生も数多くいるので、生徒による発信があるとよい。

他校では、生徒会が Instagram のアカウントを作成して行事の紹介を行っているところもある。SNS での発信は、武義高の魅力を知ってもらう一つのきっかけとなるかと思う。

意見2: 部活動に関して

中学3年生の保護者さんより、「武義高〇〇部は今どのくらいの頻度で活動しているのか？」と質問を受けました。HP の部活動欄を閲覧したところ、活動報告(受賞歴)等の更新が令和3年度付近で止まっている部活動が多くありました。可能な限り頻回の更新があるとありがたいですが、それが難しくても年度に1回は活動報告が更新してあると良い。

回答 : 情報発信の大切さは学校評価アンケートでも指摘いただいた。早急に対応したい。

意見3: 「服装等の自由化」は、日常の高校生活がきちんと整っているのであれば試してもいいのではないかと思います。

商業部(令和6年度課題研究前期実施内容・学びとビジネス架け橋プロジェクト)

意見1: 大変興味深い活動を多く実行されている。ぜひ今後も継続していただきたい。

意見2: 今後は県岐商のように、株式会社を作って運営していくビジョンを描いてもらえるといいかと思う。ビジネスを学ぶには、ビジネスを実践する事が何よりの学びである。

地域連携委員会(令和6年度前期活動報告)

意見1: ここで取り扱われている「地域連携学習」は非常に大切であるが、生徒が「自分ごと」として本腰を入れて取り組みにくいようにも思われる。「地域」という言葉から美濃市・関市という狭い範囲を連想してしまうが、もっと広く捉えてもいい。例えば、グローバルに世界全体を捉えた時に見えてくる「解決していかなければならない課題」を、まずは美濃市・関市という小さな地域における課

題解決から始めていく、という観点である。美濃市・関市での解決から、この小さな取組事例・成功事例を世界に向けて発信していくという発想である。

意見2: 武義高校は地域とのつながりや関りをとっても大切にした教育をされている。美濃市の良さを知り未来を考えていく生徒たちをこれからも育てていただきたい。

意見3: 武義高校の生徒さんたちは大人しく引っ込み思案の子が多いので地域と連携した活動を通じて主体性や積極性が育つような教育を実践していただきたい。

その他

意見1: 冒頭の「学校長挨拶」の中にあつた「プロのキャリアコンサルタントによる教職員の業務の棚卸の指導」について、大変興味がある。詳しく知りたい。

回答 : 生徒達のキャリア自律、自走性発揮を支援していくために、教員自身が、キャリア自律することを目指し行っていくものである。まずは教員が現在、どの業務にどのように時間をかけているのか、「棚卸し」することから始めている。

(4) 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、委員の過半数の参加が叶わなかったため書面開催とした。各分掌の前期活動について、委員の皆様から非常に丁寧な、かつ示唆に富むご意見を頂くことができた。これらの貴重なご意見は早速当該分掌にて検討し、今年度後期または次年度の学校経営計画に反映させるとともに、今後も開かれた学校作りに努めたい。